

<審査基準>

評価項目		企画提案書等への記載内容	評価基準	配点
企画内容 実施方法	業務の目的と理解度	仕様書の内容を踏まえ、本業務に対する基本的な考え方を示すこと	■事業趣旨や目的を的確、適正にとらえ、実施可能な内容となっているか。	10
	夕方の声かけ	夕方の声かけの実施方法について記載すること	■生徒の体調及び安否を把握できるような仕組みとなっているか。	15
	個別面談	個別面談の実施方法について記載すること	■生徒の生活状況や心身の状態を把握するとともに、状況に応じた柔軟な対応を行うことが期待できるか。	15
業務実施能力	業務実施体制	受託者の資格について記載すること	■受託者の主の担当者は、本業務遂行に必要な技能及び経験を有する者であるか。	10
		ハウスマスターの資格及び体制について記載すること	■必要な資質を持ったハウスマスターを配置し、適切かつ効果的な業務遂行ができる人員体制となっているか。	20
		緊急時における対応の体制について記載すること	■生徒に係る緊急的な事案が発生した際に、迅速かつ適切な対応を行うための体制を整備し、確実な対処が期待できる実施方法となっているか。	10
	業務実績	過去5年以内における同種業務の履行実績【様式第4号】	■過去5年間に、佐賀県関係機関や民間企業を相手方とした業務内容が類似した同規模以上の事業を実施した経験があるか。	10
経費	経費	委託料	■総額が委託金額の上限を超えておらず、委託に要する経費が効率的かつ適正であるか。	10
合 計				100

最低基準点は複数の審査員による採点合計の6割(審査員数×100点×60%)とする。